

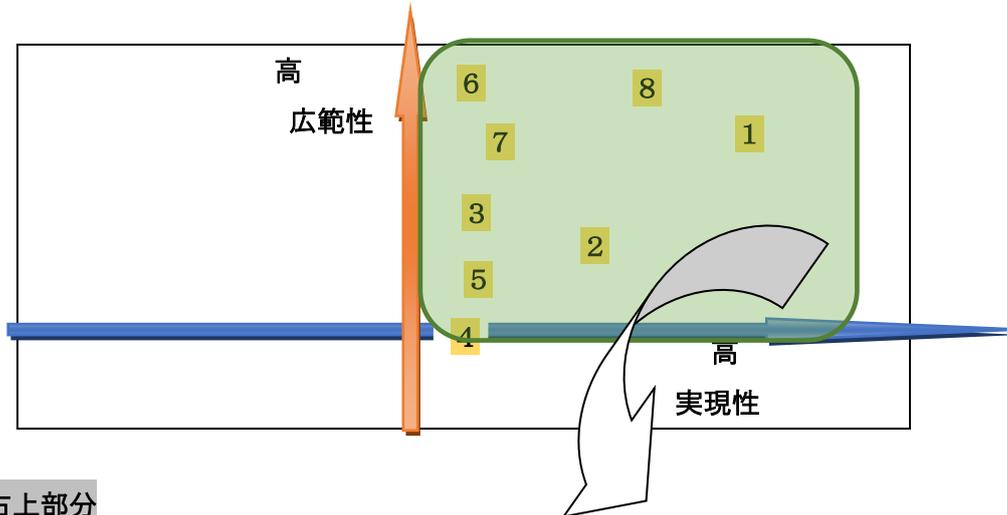
地域課題のまとめ・仕分けについて(試行的な実施)

<経緯>

・令和5年10月から、令和4年度分の地域包括支援センター運営委員会にて地域課題の仕分けを試行的に実施。

・優先順位の検討方法: 広範性と実効性から各課題の位置(優先度)と課題解決の方向性を検討。

・汎用性及び実効性ともに高いグループの仕分け終了。



仕分け右上部分

| | 小項目 | 今後の方策・方向性 | |
|---|---|--|--------------------------------|
| 1 | 関係機関の役割・機能などに関する課題。【歯科との連携】 | 歯科医師会への相談: 嚥下機能検査可の医療機関 市民への周知ちらし(案)の作成 →R6.5 主任ケアマネ、保健師部会にて意見聴取 | |
| 8 | 自立した生活の維持のために社会資源や介護保険外サービスの充実が不可欠。 | ・令和6年4月～ 街かど健康ステーションの活用 ・ 外出時に休憩できる場所の拡充 | |
| 6 | 認知機能が低下した独居高齢者が消費者被害を受けやすい。家族の介護支援困難で近隣や関係機関の連携構築が必要。 | ・保健事業と介護予防の一体的事業の ハイリスクアプローチの活用 ・重層的支援事業の活用 | 元気づくり会議での声 掛け、周知啓発 |
| 7 | 8050 問題の手前の家庭の増加による生活破綻を早期に把握・支援が困難。 | ・介護者家族の会の拡充 | 地域での見守り |
| 2 | 金銭管理が困難な精神疾患のある高齢者の医療・介護連携が必要。 | 医療と介護の連携を強化し、相互理解を深める。 | |
| 3 | 孤立・閉じこもりの高齢者と地域が繋がるきっかけづくりが必要 | ・人生会議、エンディングノートの更なる啓発 ・圏域での人生会議の講座開催 | |
| 5 | 身寄りのない高齢者への人生会議が難しい。 | ・住民、事業者向けに人生会議の周知を図る →市民向け、専門職向けの講座開催 | ・保健事業と介護予防の一体的事業のハイリスクアプローチの活用 |
| 4 | 高齢者の孤立化により、高齢者自身が権利擁護や将来について考える機会が少ない。 | ・圏域での人生会議の講座開催 | |

医療・介護連携 高齢者の孤立 家族支援 その他: 地域包括ケアシステムの構築に向けて